9







めてきました。「最初は数人が交代で ら息子さんの浩さんが2代目として きた鶴見竹雄さん、そして、 ことになりました。 俵に上がり、 竹雄さんは、45~ ちびっ子相撲を裁く 50年間行司を務 今年か 土俵の上や観客席は熱気に包ま さんのこのかけ声がかかると. ぎのまつり10選に選ばれている愛宕神社に響き渡ります。とち つ子相撲で、 った」と大きな声が上郷にある 愛宕神社奉納相撲」、 毎年8月、 行司を務める鶴見 「はっけよい、 通称ちび

長年続くこの祭りの行司を務めて ご覧ください。 中準備をし皆さんのお越し なく、 変なことです。今年も22日の日曜日 してみませんか。 に行われます。 しています。

上郷4区自治会一同で、

暑い

鶴見さんたちだけで

抱負を語ってくれました。 年この祭りを楽しみにしてい 長く続けていきたいです。 祭りを大切にし、 たんです。そんな伝統がある 子どものころ、 お小遣いがもらえたので、毎 たちも多いと思います。 及し、相撲を知らない子ども 最近は、様々なスポーツが普 毎年真夏に行われるこの祭 2代目を任された浩さんは、 相撲を取ると できるだけ 私は

もたちの成長していく姿はもちろん 象に残っていることは、 経緯を話してくれました。 らか私が毎年やるようになってまし 司を務めたときのことが印象に残っ やっていたのですが、 ですが、数年前に大相撲の力士の行 たね。」と行司を務めるようになった ています。 しそうに語ってくれました。 衣装は同級生が一式プレゼン してくれたんですよ。」と嬉 それから、 いつのころか 「地元の子ど 中でも印 行司の

お子さんを連れて参加

をお待ち

(詳細は3ページを

広報紙で見る上三川町50年

8月号の表紙

厳しい暑さが続く今日このごろ、皆さんいかがお過 ごしでしょうか。

長い時間行司を務めることは大

ところで、30年くらい前の昭和40年から50年代 の、8月号の広報紙の表紙を見てみると、花火にプー ル、祭りに盆踊りと、「ああ、夏だなあと」と感じさ せるものが多く見られます。

こんな風物誌と少し異なっているのが、昭和45年の 表紙。鬼怒川にかかる、宮岡橋の渡り初めの様子の写真 が載せられています。橋がかかるということは、今でも 大きな出来事ですから当然のことといえるでしょう。

ところが、中を読んでみるとさらに大きな出来事 「上三川町南部にタツ巻き発生」の記事が。8月6日夕 刻におきたこの竜巻、負傷者6人、全半壊家屋42棟、 その他農作物にも大きな被害を出した災害の記事です。

各地での洪水・竜巻のニュースが流れている昨今、 「上三川は安心」などと他人事のように思っていられ ないことを感じさせるこの記事。

橋の開通のお祝いの表紙の中身は、上三川での大き な災害の記事でした。







